

# プログラム名：JALから持続可能な農業への取り組み～地域との繋がりを考える～

## プログラムの内容

- ▶ 航空会社であるJALが、新規事業として農業に挑戦。どのような目的があり農業を始めたのかをお伝えします。
- ▶ JAL Agriport社員の説明を通じて、持続可能な農業の取り組みと一緒に学びます。
- ▶ オプションで季節のフルーツ・野菜収穫体験などが楽しめます。

## 対象となる【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット】】

- ▶ **ゴール11（ターゲット 11.a）**：地域規模の開発計画の強化を通じて、都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。
- ▶ **ゴール12（ターゲット12.b）**：持続可能な農業を観光として展開していくことで、参加した学生の農業の事業性や担い手の持続可能性・特産品開発・販売の理解を深める。



### 事前学習

- ▶ 航空会社であるJALがどうして農業を始めたのか、事前資料を読み取り考える
- ▶ 羽田空港が便利になり、利用者が減少した成田空港。近隣地域はどうなるか考える
- ▶ 異業種の取組についてのメリットを考える

### 現地学習

- ▶ JALが農業に挑戦する取組について講話
- ▶ 持続可能な農業の取り組みを施設見学して学びます。
- ▶ フルーツや野菜収穫体験を通じて、農産品の価値を高める取組を学びます

### 事後学習

- ▶ 日本の農業のために、自身の暮らす地域社会でできること考える。
- ▶ 持続可能な農業の取組について、参加メンバーと意見交換をしてJAL Agriportの課題と一緒に考えて提案してみる。

## プログラムのポイント！



- ▶ 設立して5年の施設で、消費者の信頼を確保できる食品安全や環境保全・労働安全など持続可能型農業を実現するための取組（ASIA GAP認証取得）を理解する。
- ▶ 持続可能型の農業とは何かを航空会社として活かした取組を、施設見学をしながら学びます。
- ▶ オプションとして、季節のフルーツ・野菜収穫体験が楽しめます。（1～5月いちご狩り、6～9月ブルーベリー狩り、9月ぶどう狩り、10月～11月さつまいも掘り）

受入人数	40名
受入可能時期（休業日）	毎週月曜日 月曜祝日の場合、翌日
受入可能時間	10:00～17:00
体験時間	60分

対象	小学校 中学生 高校生、一般
1人/1回 当たり料金	フルーツ・野菜収穫体験内容により料金異なります。講話料金別途相談
備考 (雨天対応等)	雨天時、室内体験（いちご狩り）可能。 屋外体験は大雨時不可。講話可能。

### ▶ 問い合わせ

名称： JAL Agriport 株式会社  
 担当： 齊藤 徹  
 TEL： 0476-37-6965  
 営業時間： 9:00～17:00  
 休日： 土日祝日